



大安寺護寺会

編集・発行 大安寺護寺会広報部
恵庭市大町4丁目2番25号 大安寺内
TEL (0123) 34-1093
FAX (0123) 33-8005
ホームページURL <http://www.dianji.net>



かんぶつ
灌仏(甘茶を注ぐ様子)

「新ごく本尊」の勧請



大安寺護寺会 会長
大安寺住職 押見 俊哉

「勧請」とは、仏さまを心からありがたくお迎えすることをいいます。

お釈迦さまを真ん中に、両脇にはお釈迦さまといつも行動を共にされた勝れた弟子である迦葉尊者かしやうと阿難尊者あなんの三体の仏像（釈迦三尊像）です。

この仏さまのお祀りの形式は、禅宗本来の形であり、その大きさは三メートル半の特大のもので、本堂の床から天井までの高さとなります。

檀信徒の皆様におかれましては、日頃より護寺会に対しご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。さて、約一年後の平成二十八年九月三・四日の両祖忌法要に併せて、大安寺を開かれた大休悟由禪師さま百回忌と先代住職の十三回忌法要を営みます。

またこの節目にあたり、新時代に向けて私共大安寺檀信徒の心の拠り所となる、新しいご本尊（釈迦三尊像）をお迎えして、大本山永平寺副管首さまをお導師に開眼法要を修行する予定であります。

大安寺の寺史におきましても節目となる大きな意義を持つ大法要になります。

ご本尊は著名な仏師である江場仏師により現在制作中であります、最終段階に近づいてまいりました。作業の様子は前号・前々号の紙面でもご報告させていただきました。

私は五年前に新しいご本尊を勧請し、奉安することを発願いたしました。

檀 信 徒 寄 稿 文

思 う こ と

山田 和雄

安んじてお棺に入るには、「いかに過ごすべきか」ということ。

修証義第四章にある「舟を置き、橋を渡すも布施の壇度」とあります。私はそこに心惹かれています。そのことで実践してみたところ周りから「やさしいね」と言われ嬉しく思いました。また、過日、孫の用事で恵庭小学校へ出掛けたおり、その教室の前で私を囲んで女児達が「やさしそう」とにこやかに言つた時も嬉しく感じました。

この章にある「四枚の般若」について、思いを寄せていいのです。奥が深いと思います。これから的生活の中、又出逢いの中に答えが散りばめられているものと感じ、感度を上げ、アンテナを研ぎます。

ただし、そのことのみを心に置いていては身体がもちません。生身で居るので趣味も無ければ、世間も狭い今までです。世間が修行の場なのですから。

幼い頃から機械ものが好きで、二十歳から中古のバイクに乗っていて、給料取りになっていた自分には、故障の度に修理にしていては財がすぐに底をつけます。そこで一夏、もっぱら修理屋さんに出向き、若い職人さんと仲良くなり、その知識と技術を身に付けさせていただき、当時の

バイクに未だに乗り続けていられる」と、そのバイクの持つ縁で、誰とでも仲間になれる事を幸せに思い、一人旅に出してくれる家族に又旅先で出会う皆さんに感謝です。

運と縁には人智の入る余地はありません。神仏の司る領域と心得ていて、世渡りの諸事とは神仏が用意した舞台であって、出された演目をどのように演ずるのか試されているものと考え、自分を研ぐ場と受け止めています。

試練とは、砥石と受け止めよう、人心を育む仏心に挫折など有得ないと捉え、頑張ろうと決めています。老け込む暇は無い、来るものは拒まず、去る者は追わずの精神で。

護寺会だより原稿募集のお願い

護寺会では、皆様方からの原稿を隨時募集しておりますので、よろしくお願ひいたします。採用された方には、粗品を進呈いたします。

- ・題材 私と仏様、お寺、仏教との関わりについて等
- ・原稿 原稿用紙1~2枚(四百~八百字)程度
- ・応募方法 郵送、FAX、Eメールにて

宛先

大安寺護寺会広報部

〒〇六一—一四二四 北海道恵庭市大町四丁目二番二十五号
FAX..〇一二三一—三三一八〇〇五

Eメール..dianji@gol.com

平成二十七年上半期の行事報告

元朝・大般若祈禱会

一月一日（木）午前0時修行

人類の幸福・世界平和・仏法興隆・家門繁栄等、仏法僧の三宝に帰依するすべての人々が永く久しく幸福である事を皆様と祈願し、大般若・立春大吉・鎮防火燭（ご尊家の万福を祈願し、ご祈祷した御札）を皆様にお渡し致しました。

厄払い追儺会

一月三日（火）午後6時修行

「節分・厄払い」とも言われ、読経のあと、今年の年男・

年女が、朱の半纏を身にまとい、除災招福を祈つて、本堂で豆まきをしました。この日は、小さなお子さんから大人まで一七〇名以上の方が参加され、みんな笑顔で豆を拾いました。本堂の絨毯はまかれた豆で一杯になり、

壯觀の一語でした。皆さんのが無病息災で過ごされますよう。



釈尊涅槃会

二月十五日（日）午前十時修行

お釈迦様の入滅された日で、涅槃図を掲げてお釈迦様をお忍びし、涅槃団子をお供えして無病息災を願いました。また、参詣者には涅槃団子が振舞われました。

春季彼岸会

三月二十一日（土）午前十一時修行

お彼岸は仏教の教えを実践する期間で、たくさんの方が、ご先祖供養に訪れ、静かに手を合わせて祈る姿が見られました。

彼岸とは涅槃の世界の意で、煩惱の此岸に対し、悟りの世界に至る願望（到彼岸）を表します。中日の日没が真西方に当たるので、西方浄土を希求する願いと結びついたと言われています。

釈尊降誕会

五月八日（金）午前十一時修行

一般には「花まつり」とも言われ、お釈迦様のご誕生を祝い、恵庭幼稚園の年長・年中組百六十名と合同で「釈尊降誕会」を行いました。恵庭幼稚園の年長組園児が、お釈迦様の乗った白い象を総門から本堂入り口まで綱を引きました。本堂正面に置かれた白象に住職が甘茶をかけました。園児たちは花まつりの歌を歌い和やかな中、お釈迦様の誕生を祝いました。

先代住職との思い出

月 命 日
近藤 春男

母が亡くなるまで、我が家は月命日は二十三日でした。三十年前、十二月に死んだ父の命日なのです。その頃、ボクは札幌に住んで廃品回収の仕事をしていました。生活に追われて、母が一人で住む恵庭の家には寄りつきませんでした。

でも、毎月二十三日だけは恵庭に帰つて仏壇の前で手を合わせていました。なにせ若い頃からズーッと親不孝を重ねていましたから、そうしないとバチが当たるような気がしていました。本当の事を言えば、月命日にお参りに来てくれる先代住職の香積さんと昔話が出来るので、それが楽しみで帰つて来たというのが正直な気持ちでした。

香積さんは、ボクの三歳年下の弟と恵庭小学校で同級生でした。そんなこともあって、割と気安く話が出来たのです。それに、香積さんもボクも恵庭中学校の野球部に属していました。

中学卒業後、町内の草野球チームで敵味方に分かれて、優勝を争っていました。ある大会の決勝で彼と対戦したことがあります。彼は左投げのピッチャーで、僕らのチームは彼の速球を全然打てませんでした。そして、七回の表、彼に二塁打を打たれて負けてしました。

月命日のお参りに来る度に、この話をすると先代は、満月の様な顔を一層丸くして、「ホッホッホ」と笑っていました。悔しいけれど、その時打たれた投手は、「ボク」だったのです。

仏教とおそば

現在のところ、そば切り（そば粉を麺状にしたもの）の初見とされるのは、慶長年間（千六百年代）の文献に「慈性日記」の中で「そば切りを駆走になつた」というくだりが見られる。

そば 자체は、中国から伝わり広まつたと言われるが、食べ方は、そばを練つた「そばがき」のようにして食しているようである。今のような、「そば切り」としての発祥地については、遺された書物からいろいろと説もあるようですが、中には、京都の禅寺を発祥地と唱える説もある。いざれも「そば切り」の伝播に寺院が大きな役割を果たしていたと言われる。

仏教は伝来以来、庶民の信仰を集め、全国各地に寺が建立されていった。「そば切り」は、京都から尾張一宮・妙興寺、木曾定勝寺、戸隠、善光寺、永平寺、延暦寺などの門前ほか、各地の寺を通じて全国へと広まつていった。

寺院や茶道の席では、単なる食事の一形式を超えた存在として食されていました。茶道の根本精神である禅味を備えた食べ物として扱われ、それは現在のそばにも通ずる大きな魅力といえるのではないかどうか。

「慈性日記」を書いた、慈性（じしょう）というお坊さんは、権大納言日野資勝の子で、近江多賀神社の社僧（神社で仏事を修した僧侶）であった。

主な参考文献

蕎麦の世界 新島繁

「お寺からの お知らせ」

新ご本尊「奉賛金」のお勧め

新しい大安寺のご本尊をお迎えいたします。来年九月三・四日の両祖報恩法要の日程で開眼法要を修行する予定です。

新ご本尊は檀信徒の皆様方からの奉賛金によって奉納されます。

ご協力者のご芳名は、ご本尊のご胎内におさめられ、後世に伝えられます。

勧募の最終期限は来年三月末です。ご入金は専用の振込用紙にてお願い申し上げます。（詳細はお寺までお問い合わせください。）

お寺の旅行のご案内

本年十二月二～四日（二泊三日）の日程で『新ご本尊の検品と秋の紅葉・京都奈良観光』を予定しております。

ます。

現在、新ご本尊は名古屋市の隣町の長久手市にある江場佛像彫刻所で制作されています。その制作作業を見学させていただき、京都奈良の紅葉を楽しみたいと思います。

参加枠には限りがございますので参加希望の方はお早めにお申し込みください。

「写経・坐禅のつどい」日程

写経

九月十五日（火）・十月十五日（木）

坐禅

九月 一日（火）・十一月 一日（日）
(時間はいずれも午後三時～四時半)
ご参加をお待ちしております。

今年度の行事

今年度の今後の行事日程です。

○盂蘭盆会・初盆供養

八月十六日（日） 午後一時より
○両祖報恩会・万灯供養
九月七日（月） 午前十時より

○秋季彼岸会・水子供養
九月二十三日（水） 午前十一時

より

○釈尊成道会・カラオケお楽しみ会
十二月八日（火）午前十一時より

秋季彼岸会法要時間の変更

今年度「年間行事予定表」に記載していた秋季彼岸会法要の開始时刻を次のように変更します。

お間違えの無いようお願いします。

（変更前） 午後一時より
（変更後） 午前十一時より

屋根の改修工事

開山堂と庫裡の屋根の改修工事（トタン張り替え）を行いました。

次号護寺会だより十五号は
平成二十七年十二月末頃の
発刊の予定です。